

CDP概要と回答の進め方

2021年5月

本ウェビナーの内容

1. CDPの活動概要
2. CDPの質問書
3. CDPのスコアリング
4. CDP回答提出に向けて(リンク集・進め方)

CDPの活動概要



CDPとは



CDPは2000年に英国で設立された**国際的な環境非営利団体**であり、「人々と地球にとって、健全で豊かな経済を保つ」ことを目的に活動しています。



その目的の達成に向けて、CDPは**投資家、企業、自治体**に対して働きかけ、それぞれの**環境インパクトに関する情報開示**を促しています。



CDPの情報開示システムは世界経済における**環境報告のグローバルスタンダード**となっており、企業や自治体の環境インパクトに関する**世界最大のデータセット**を保有しています。



世界中の投資家、購買企業、政策決定者は、CDPに集められた情報を活用し、データに基づいた意思決定を行っています。

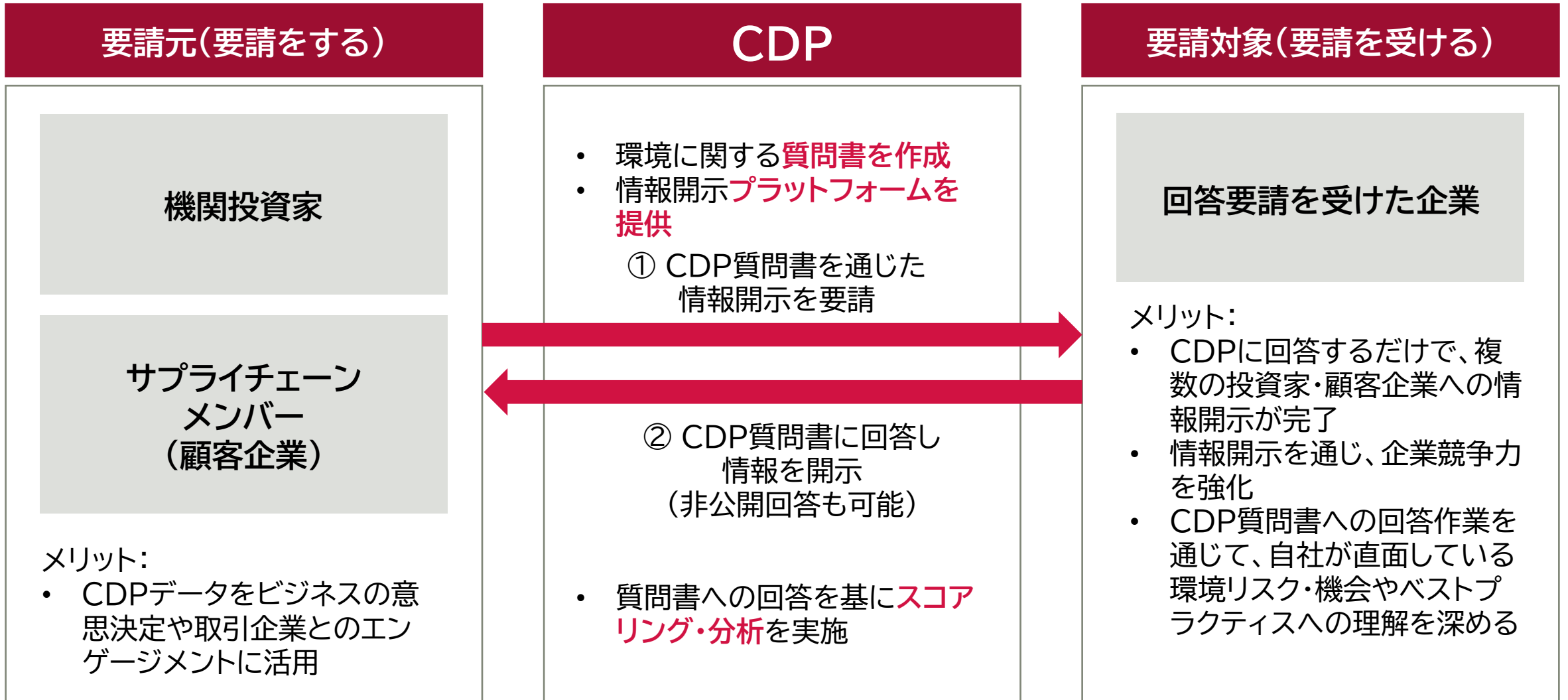
CDPの活動拠点



▼ CDPは国際的な非営利団体であり、地域オフィスと地域パートナーは50か国に存在します。



CDPの情報開示システム



CDP署名投資家



2020年、投資運用総額**106兆米ドル超**、**515**を超える投資家
2021年には署名投資家数は**590**を超える

日本の署名投資家(18機関)

MS&ADインシュアランスグループホールディングス

日本政策投資銀行

SOMPOホールディングス

大和証券グループ本社

東京海上アセットマネジメント

東京海上日動火災保険

日興アセットマネジメント

ニッセイアセットマネジメント

農林中央金庫

野村ホールディングス

富国生命投資顧問

みずほフィナンシャルグループ

三井住友フィナンシャルグループ

三井住友トラストアセットマネジメント

三菱UFJ信託銀行

三菱UFJフィナンシャル・グループ

りそなアセットマネジメント

住友生命

CDPサプライチェーンメンバー

2019年の125社から2020年は**155社以上**に拡大。回答要請先は15,000社以上。



DISCLOSURE INSIGHT ACTION



CDPの活動規模(2020年)



投資運用総額**106兆米ドル超**、**515**を超える投資家



購買力**4兆米ドル**を超える**155以上**のサプライチェーンメンバー

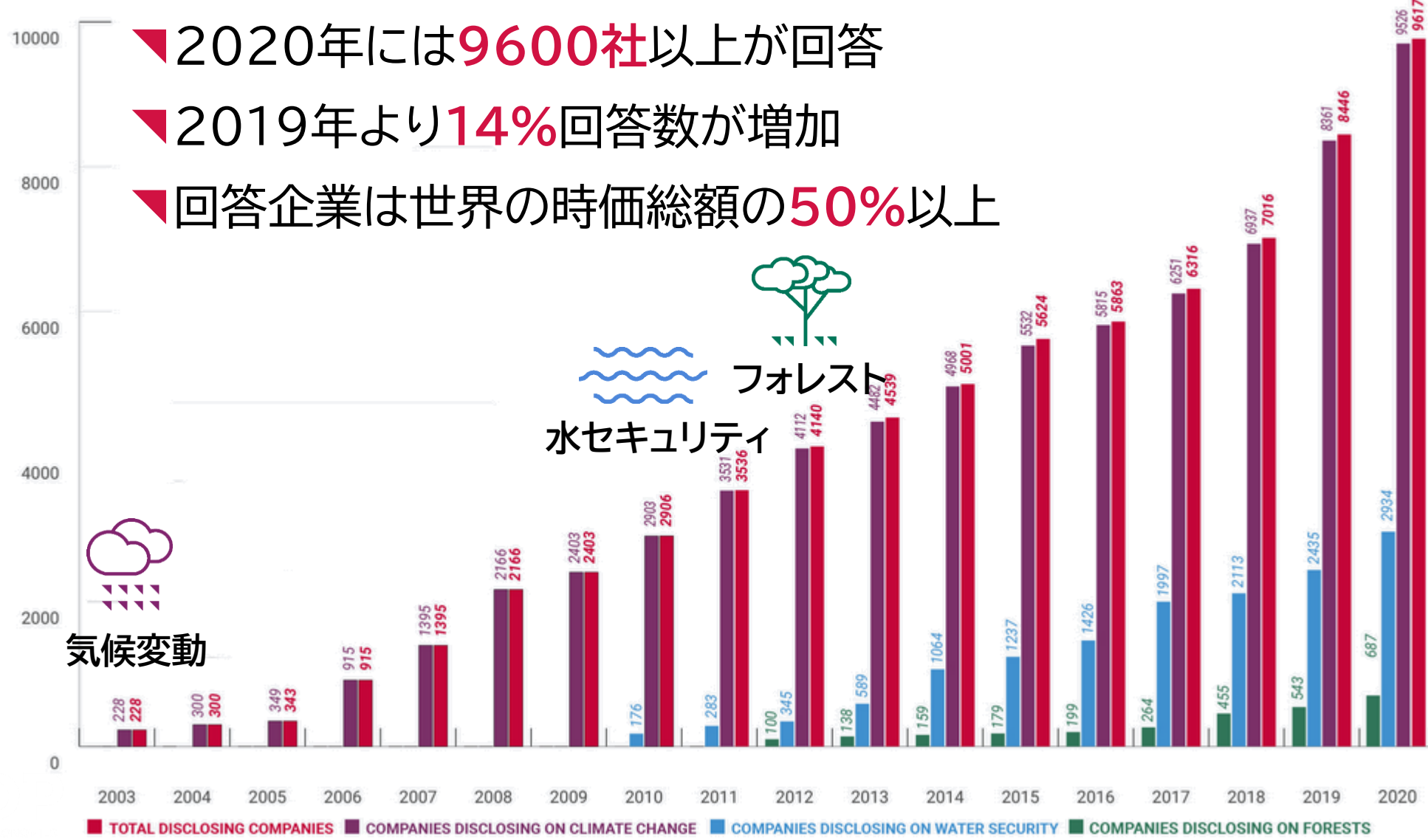


9,600社を超える企業(世界の時価総額の**5割以上**)からの回答



800以上の都市、**120**を超える州・地域が環境インパクトを開示

CDPを通じた企業の情報開示状況



内閣府特命担当大臣
(規制改革、沖縄及び北方対策)
河野 太郎 様



CDP2020 Aリスト企業
アワード
(2021年1月14日)



2020年 Aリスト日本企業からの評価



CDPの設問は今やグローバルスタンダードです。この設問を満足できるように自社の活動を再整理し、レベルアップすることで、独りよがりの活動とならず投資家等と効率的なコミュニケーションに役立っています。

花王株式会社

代表取締役 社長執行役員

長谷部 佳宏

CDPへの回答は、世界の動きを察知し、将来あるべき姿を考察する上で重要です。

不二製油グループ本社株式会社

代表取締役社長 最高経営責任者(CEO)

清水 洋史

世界のリーダーからの評価



21世紀のグローバルビジネスにおいて、CDPの存在は欠かせません。彼らは、企業に温室効果ガス排出量の計測、管理、開示、そして、削減を促しています。企業の気候変動関連情報を集積し、それらを市場に提供している組織は、他に例を見ません。

潘基文(前国際連合事務総長)

ビジネスにおいてCDPは、医学にとってのレントゲンのようなもの。これなしでは患者の健康状態は分からない。

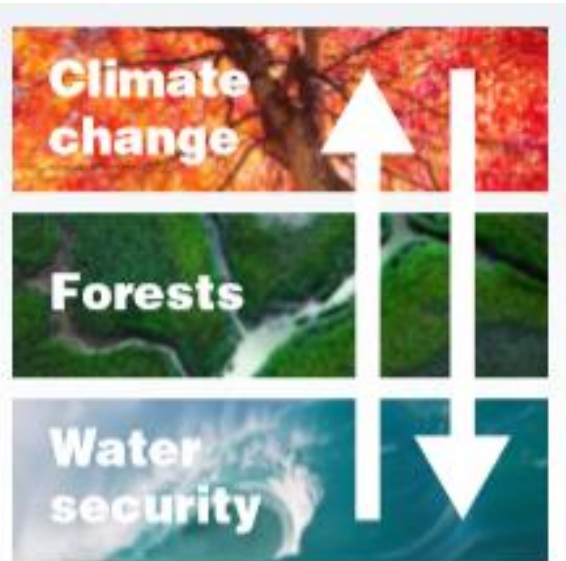
国連気候変動枠組条約 第4代事務局長
クリスティアナ・フィゲレス

CDPの質問書

CDP質問書の構成



複数分野の一貫性



各セクターに対応



TCFD提言との整合性



CDP質問書の内容

気候変動



【主な質問】

- ガバナンス
- リスク・機会
- 事業戦略
- 目標と実績
- 排出量算定方法
- GHG排出量
- 排出量詳細
- カーボンプライシング
- エンゲージメント(協働)

水セキュリティ



【主な質問】

- 現状
- ビジネスへの影響
- 手順
- リスクと機会
- 施設別水のアカウンティング
- ガバナンス
- ビジネス戦略
- 目標

フォレスト



【主な質問】

- コンテキスト
- トレーサビリティ
- ターゲット・認証基準
- リスクと機会

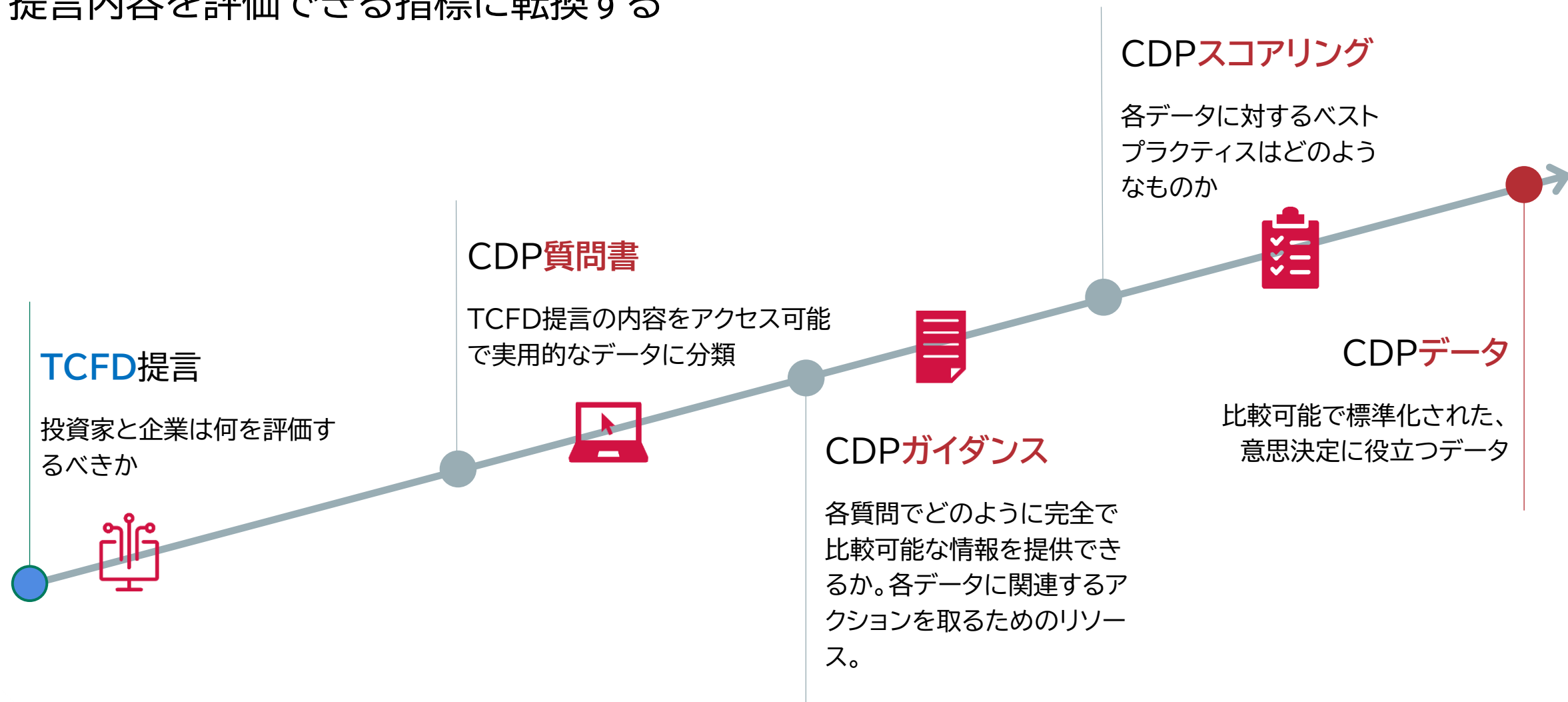
<森林減少に関する4つの
コモディティ>:

木材、パーム油、牛製品、大豆(+
天然ゴム、ココア、コーヒー)

TCFD(気候変動関連財務
情報開示タスクフォース)の
提言に沿った質問内容

CDPの質問書

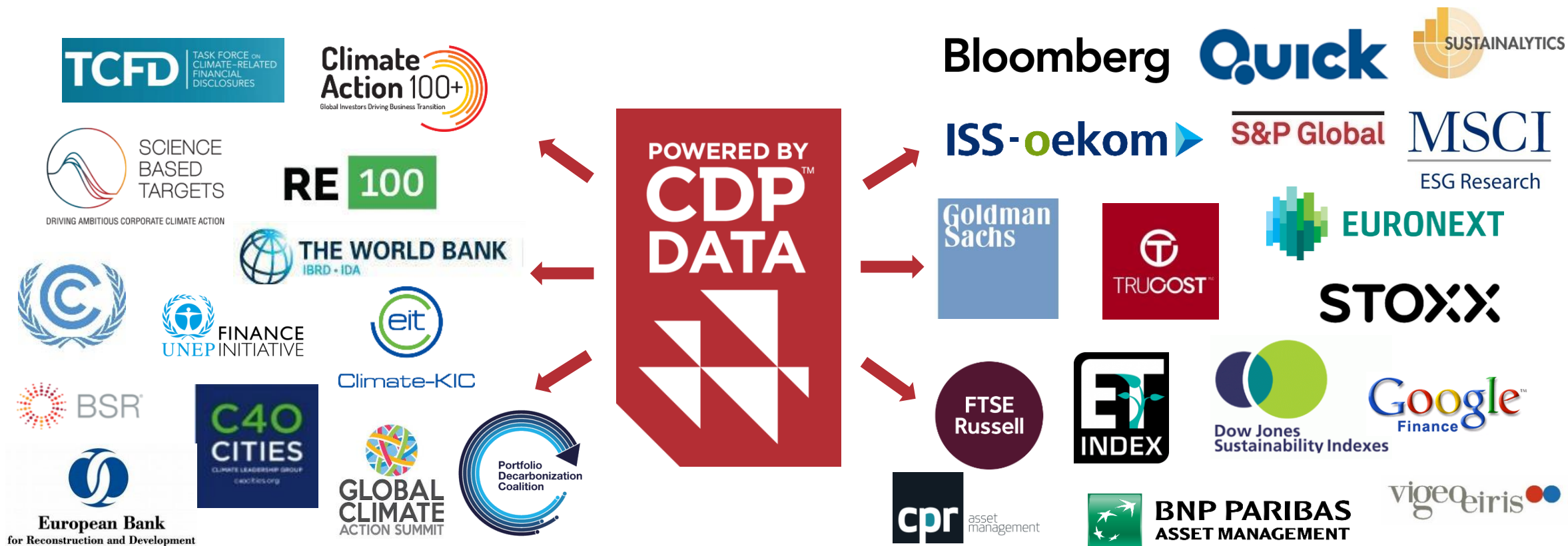
提言内容を評価できる指標に転換する



CDPデータの活用



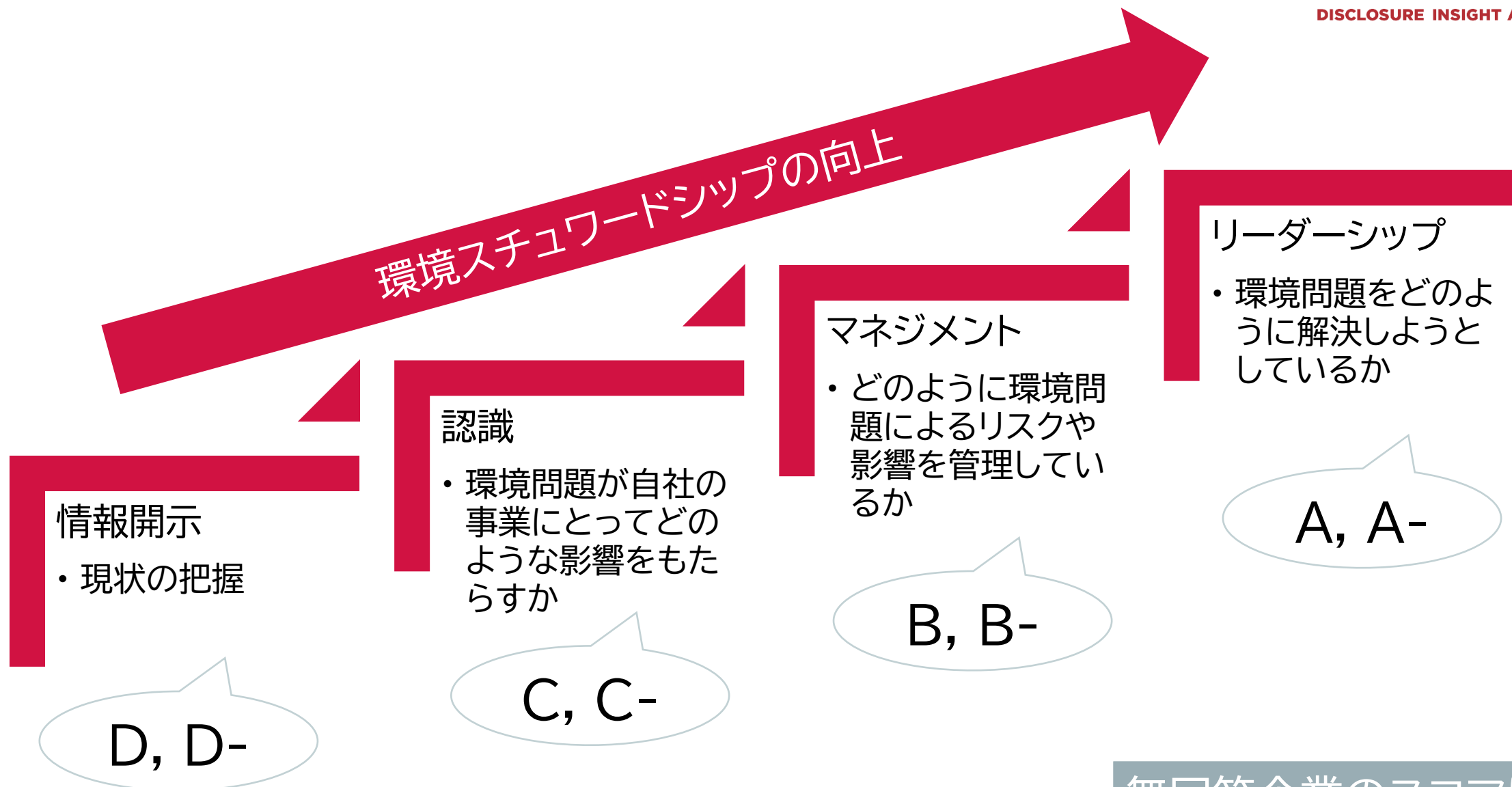
CDPの環境に関するデータは、金融市場、政策イニシアチブ、その他さまざまな主要ステークホルダーによって活用されています。



CDPのスコアリング



CDPスコアの意味



CDPのスコアリング



- ▼ **独立性:** スコアリングは、CDPのトレーニングを受けた第三者機関(スコアリング・パートナー)によって実施されます。パートナーによって採点されたスコアは、厳しいチェックを受けた後、公表されます。
- ▼ **比較可能性:** CDPのスコアリング基準は、どの国の企業に対しても同じように適用されており、どの企業も同じ情報の開示と行動が求められます。
- ▼ **透明性:** 回答ガイダンスやスコアリング基準はオンライン上で公開しています。またウェビナーやワークショップ等でも質問書の内容や回答方法について説明しています。
- ▼ **広範性:** 2019年、のべ10,000を超える回答のスコアを算出しました。
- ▼ **影響力:** 公表されたスコアは、CDPウェブサイトや報告書のほか、クイックやブルームバーグの株価情報端末などに掲載されており、機関投資家にも共有されています。

CDP回答提出に向けて



CDP回答提出に向けて



- ▼4月に送付された回答要請メールから、アカウントの作成またはサインインを行う。
- ▼回答ダッシュボードにてメインユーザーの設定を行う(※メインユーザーは毎年リセットされますので、毎年新たに設定いただく必要があります)。
- ▼回答事務費用の支払い手続きを行う。
- ▼CDPが公開している各種資料、CDPが開催するセミナーなどの情報を参考に、オンライン回答システム(ORS)上で回答を作成する。
- ▼7月28日までにORS上で回答を提出する(回答の提出ができるのはメインユーザーのみ)。

CDP2021年回答のスケジュール

※公開時期などについては今後変更となる可能性があります



2021年**質問書の公表**

2021年**スコアリング基準の公表**

回答要請の通知、オンライン回答システムがオープン

回答提出の締切

※期日後に提出された回答は評価対象外となります

回答の公開

要請元に回答が提供されます(参考:昨年は10月に公表)

スコアの公表

(参考:昨年は12月上旬に公表)

CDPが提供している主な資料(リンク集)

- ▼ よくあるご質問(FAQ)
- ▼ 回答ダッシュボード使用方法(アカウントの作成など)
- ▼ オンライン回答システム使用方法
- ▼ スコアリングイントロダクション
- ▼ 気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書
- ▼ 各質問書に関するガイダンス資料・スコアリング基準
- ▼ 各質問書に関するウェビナー(動画・資料)
- ▼ 各質問書の前年からの変更点
- ▼ 公開されている他社回答へのアクセス
- ▼ 日本語版気候変動・水セキュリティ・フォレスト報告書
- ▼ CDPジャパンが開催するセミナー情報(過去の録画・資料含む)



CDP Worldwide-Japan

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



お問い合わせ : japan@cdp.net